第13回全国和牛能力共進会 北海道大会の開催について

～令和9年十勝で開催～

○全国和牛能力共進会（全共）とは

公益社団法人 全国和牛登録協会の主催により、5年に1度、和牛の能力と斉一性の向上を目的に、生産・改良上の課題をテーマとして掲げ、時代の要求にかなう種牛や肉牛を実証展示するとともに、各県の改良成果を競う場として開催され、和牛のオリンピックとも称される。

この大会で優秀な成績を収めることが各県のブランド力向上につながることから、全国の和牛生産者にとって、最も重要な大会となっている。

○開催の目的

北海道で生産される和牛・和牛肉のブランド力の向上や、全国有数の和牛産地としての地位確立、北海道の魅力（食・観光）のPR等を目的に開催する。

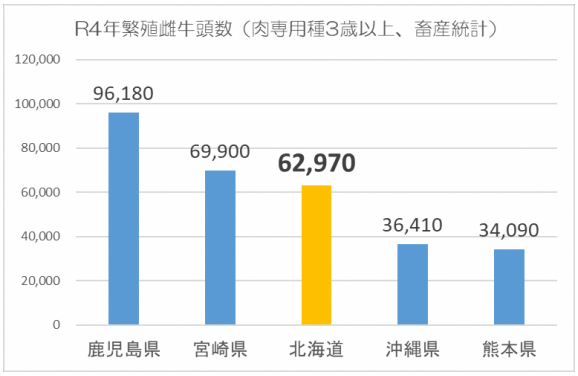
全国和牛能力共進会開催状況

回次	開催年	開催県	出品頭数（頭）	来場者数（千人）
第1回	S41	岡山県	99	
第2回	45	鹿児島県	211	
第3回	52	宮崎県	278	
第4回	57	福島県	314	
第5回	62	島根県	322	293
第6回	H4	大分県	391	610
第7回	9	岩手県	432	361
第8回	14	岐阜県	469	398
第9回	19	鳥取県	494	272
第10回	24	長崎県	500	370
第11回	29	宮城県	513	420
第12回	R4	鹿児島県	438	308
第13回	9	北海道		
【参考】ホル全共	H27	北海道	374	66

○開催地の効果

会場を訪れる相当数の来場者からの経済的な効果と、生産和牛肉の消費者へのPR、種牛産地としての子牛市場価格の向上が期待される。

（宮城県大会の経済効果　約101億円、鹿児島県大会の経済効果 約66億円）



○北海道大会開催概要

・大会名称　第13回全国和牛能力共進会北海道大会
・主　催　公益社団法人　全国和牛登録協会
・運営主体　第13回全国和牛能力共進会北海道実行委員会
・開催期間　令和9年8月26日(木)～8月30日(月)の5日間
・出品頭数　種牛の部:約320頭、肉牛の部:約200頭を想定
・来場者数　38万人を想定
・開催場所

○種牛の部会場

・共進会会場　音更町 ホクレン十勝地区家畜市場
・催事会場　音更町 希望が丘運動公園・家畜集出荷センター

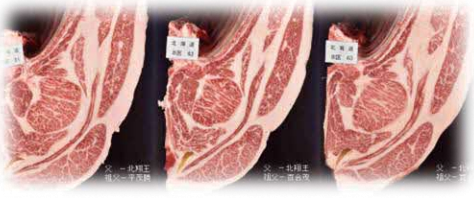
○肉牛の部会場

・審査・展示会場　帯広市 株式会社北海道畜産公社十勝工場
・ セリ会場・セリ参観会場　帯広市 よつ葉アリーナ十勝

○開催までのスケジュール（予定を含む）

・R2.8 第13回全共北海道誘致推進協議会の設立(構成14団体)
・R2.11全和理事会で北海道開催決定
・R4.7 第13回全共北海道実行委員会設立(構成30団体、会長 北海道知事)

・R5.6　全和理事会で開催場所の決定
・R5.12 全和理事会で開催期間の決定
・R6.5　道実行委員会で大会基本計画(概算事業費・負担割合)の決定



・R8.5　北海道大会運営本部の設立
・R9.8　第13回全共北海道大会の開催